

# 文化学科

- 日本研究
- アジア・オセアニア研究
- ヨーロッパ・地中海研究
- アメリカ研究

世界各地域の文化について多面的・総合的な理解を持ち、人文科学の専門的・学問的な深い分析ができる、国際化時代のリーダーになれる人を育てます。

文化学科では、1年次での基礎的な学習の後、2年次から日本研究、アジア・オセアニア研究、ヨーロッパ・地中海研究、アメリカ研究のいずれかに属し、その地域の文化に関して、言語、文学、歴史、哲学・思想、社会、民族、地理、環境まで、多面的・総合的に学んでいきます。こうした幅の広さが文化学科の特徴の一つです。

それと同時に、卒業論文に向けて深く専門的に研究していくために不可欠な人文科学の専門分野別の指導も十分に行われます。ある地域の文化を多面的・総合的に学ぶことを、専門性を高めることで強化する、これが文化学科のカリキュラムの基本です。



## 文化学科で学べる専門分野

- 言語学
- 文学
- 歴史学・考古学
- 美術史学
- 地理学・環境学
- 哲学・思想
- 社会学
- 文化人類学
- 図書館・情報学

### 1年生

教養教育で学問の基礎を学びます。1年生の終わりに自分の所属地域を決めます。

### 2年生以降

自分が所属する地域でその地域の文化について多面的・総合的に学んでいきます。

### 3・4年生

ゼミ

所属する地域の特定の領域について、専門分野のゼミに所属して研究し卒業論文を書きます。

## カリキュラムの流れ

### 文化学研究総論 (1年次後期)

大学での勉強の仕方を学ぶための少人数セミナーで、入学後すぐに受講します。自発的な研究の第一歩です。

### 専門PBLセミナーA (2年次前期)

各所属地域で開講される総合科目です。各地域の文化を学際的・多面的に分析する講義です。

専門性を活かした資格

### 教員

中学校(国語・社会・英語)と高等学校(国語・地理・歴史・公民・英語)の免許が取得できます。

### 学芸員

博物館に勤務する専門職員です。資料の収集、保管、展示や調査研究、その他の関連する事業を行います。

### 図書館司書 学校図書館司書教諭

司書は各種の図書館で、また司書教諭は小・中・高の学校図書館で勤務する専門職員です。

### 大学院への進学

大学院修士課程・博士課程へ進学するために十分な専門領域の訓練を受けることができます。



## 文化学科教育カリキュラム



文化学科1年生K.H.さんの1週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限目 8:50~10:20				心理学F データサイエンスI	
2限目 10:30~12:00	比較文化論	異文化理解I 演習(ドイツ語)	英語I コミュニケーション	文化人類学A	哲学A
昼休み					
3限目 13:00~14:30	英語I 大学基礎	スポーツ健康科学	キャリア教育入門	異文化理解I 基礎(ドイツ語)	文学概論G
4限目 14:40~16:10	日本理解 特殊講義	英語I TOEIC		英語I TOEIC	現代科学理解 特殊講義
5限目 16:20~17:50				スタートアップ PBLセミナー	

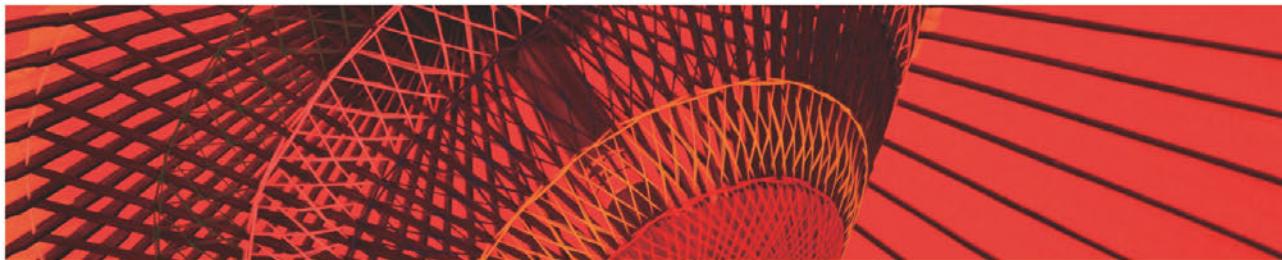
文化学科3年生R.K.さんの1週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限目 8:50~10:20					
2限目 10:30~12:00			生命倫理論A ヨーロッパ・地中海の思想A	フランス文学 演習E	フランスの文学E
昼休み					
3限目 13:00~14:30	フランス語学 演習E	ドイツ文学論B ビジネスキャリア入門			フランスの言語E
4限目 14:40~16:10	英語II発展C ヨーロッパ・地中海思想演習A	英米事情A 図書館制度・インターネット・経営論			
5限目 16:20~17:50	英語II発展E				

文献史料とフィールドワークを重視し、学校や市町村で活躍する人材を育成する

# 日本研究

私達は本当に日本の文化や歴史、思想を理解しているのでしょうか。海外に出ると初めて日本の食事の美味しさ、自然の豊かさ、人情の厚さを痛感します。日本の豊かで奥深い日常はいつ、どの様に形成されたのでしょうか。伊勢湾に面する三重の地はこの問いに様々なヒントを与えてくれます。地域社会と共に素敵な解答を見つけてみませんか。



## 教員紹介

- 日本倫理思想史(遠山 敦)  
思索の伝統をたどり生の意味を問う
- 日本考古学(小澤 毅)  
発掘調査と史料から文化の起源を考える
- 日本古代・中世信仰史(山田雄司)  
神仏を起点に日本人とは何かを考える
- 日本近世史(塚本 明)  
古文書を通して江戸民衆の声を聞く

- 日本語学(川口敦子)  
中世国語資料から日本語を考える
- 日本中古文学(亀田夕佳)  
平安後期物語から物語と和歌の関係を考える
- 日本近世文学(吉丸雄哉)  
江戸の小説と詩歌から雅俗の心を学ぶ

- 日本近現代文学(開 信介)  
文学作品の読解を通じ  
虚構と非虚構の関わりを考える
- 社会学(永谷 健)  
社会問題から近現代日本の真相に迫る
- 文化地理学(森 正人)  
近現代の風景・場所・空間を考える

**卒業生インタビュー**

**OG Voices**

**歴史に关心を持つきっかけに**

本居宣長記念館

2015年卒業 I.M.さん

現在は、学芸員として展示の企画や解説、史料調査などを行っています。所属していた考古学ゼミで、様々な博物館を訪れたり、歴史を学ぶ一般の方々と触れ合ったりしたこと、また熱心に歴史を語る先生方と出会い、自分も歴史の楽しさに気付く窓口になりたいと思うようになったことが、今の仕事に繋がっていると感じています。

## 日本研究:授業の紹介

CLASS INTRODUCTION

### 【日本歴史演習】

「日本歴史演習」では、志摩半島や熊野灘沿岸の村々に残された古文書(くずし字)史料を解読しながら、江戸時代の民衆社会の姿を明らかにすることを課題としています。春と秋に原文書の整理作業を行っている志摩市越賀郷蔵文書や、以前に調査した尾鷲組大庄屋文書等を用いて、「家族」、「災害」、「船」、「食文化」、「紛争」など、毎年設定するテーマに即して、グループごとに史料の解読・分析と報告に取り組んでいます。



日本に最も身近なアジア・太平洋地域に精通した国際派を養成する

# アジア・オセアニア研究

発展著しい巨大市場、人的資源と天然資源豊富な、今世界で最もパワーのあるアジア・オセアニア地域。アジア・オセアニアに精通したグローバルな人材を育てます。

また、この地域の知識を深めることは、日本を再認識することでもあります。



## 教員紹介

- インド哲学(久間泰賢)  
古今の資料からインドの思想を学ぶ
- 中国哲学(西 信康)  
古代中国思想に賢人の知恵を学ぶ
- 東洋史(酒井恵子)  
漢文史料から中国の歴史を考える
- 東洋美術史(藤田伸也)  
美術作品から文化の広がりを考える

- 中国語学・言語学(白石将人)  
言語と文字から東アジアの言語史を考える
- 中国古典文学(湯浅陽子)  
文献から中国の古典文学を考える
- 中国現代文学(花尻奈緒子)  
文学・文化から現代中国とアジアを考える
- 文化人類学(深田淳太郎)  
オセアニアから人と人、人とモノの関係を考える

- 人文地理学(安食和宏)  
東南アジアの環境と人々の生活を学ぶ
- 自然地理学(谷口智雅)  
観測・観察で地域の水環境を理解する
- 図書館・情報学(三根慎二)  
学術情報流通・情報メディアを研究
- 台湾文学(何 儘鴻)  
台湾の文学から社会問題と歴史を考える

## アジア・オセアニア研究:授業の紹介 CLASS INTRODUCTION

### 【中国の文学】

高校までは国語の時間に漢文を学習しますが、大学では外国の文学として中国文学を学びます。この授業では、学期ごとに中国の特定の時代を取り上げ、時代背景なども視野に入れつつ、おもな作者の作品を読み進め、その表現や内容について受講生の皆さんと検討するなかで、その時代の文学の持つ特質について考えます。日本を含む東アジア地域に多大な影響を与えた中国の古典文化に触れ、理解を深めてください。



## 卒業生インタビュー OG Voices

### ゼミの経験を仕事に活用

吉田工業

2010年卒業 M.Y.さん



私は久間ゼミでインド思想について学びました。インドの多種多様な考え方方に触れ、相手の価値観を理解し認められるようになりました。現在、ゼミでの経験を活かし、お客様の様々な要望を理解し実現するように努めています。

近代科学と現代文明を生み出し環境との調和を模索するヨーロッパから知を

# ヨーロッパ・地中海研究

ヨーロッパは多くの民族と言語を抱え、ギリシア・ローマの古代文明、キリスト教文化、近代科学と現代文明を生み出しました。そして現在、文明と環境との調和を模索する成熟した社会となっています。EUとしても世界と日本に影響を及ぼしています。この成熟した社会の知を学び、日本の社会に生かし、世界に羽ばたく人材を育てています。



## 教員紹介

- 哲学(田中綾乃)  
「なぜ?」から始まる哲学  
～人間存在と世界について考える～
- 歴史学(野村耕一)  
今と未来を生きるため、歴史に学ぶ
- 言語学(綾野誠紀)  
英語、日本語等の母語に関する知識の研究
- 英語音声学(服部範子)  
話したことばから英語の音の姿を探る
- ドイツ語学(中野英莉子)  
ドイツ語を通して人間の心のしきみを探る

- 比較文化・フランス語(グットマン・ティエリー)  
他国と比較しながら日本政治の特徴と普遍性を探る
- イギリス文学(赤岩 隆)  
英語で書かれた小説を通して世界を見る
- ドイツ文学(稻葉瑛志)  
ドイツの文学から「近代」の問題を考える
- ドイツ・オーストリア文学(籠 碧)  
過去の文学を通して現代の諸問題を探る
- ドイツ文学・思想(山取圭澄)  
ドイツ文学・思想から現代の問題を考察する

- フランス文学(山本 覚)  
フランス文学から人間の心と精神を考える
- 社会学(村上直樹)  
ヨーロッパの社会と文化を身近なものにする
- 人文地理学(北川真也)  
ヨーロッパの「多文化共生」を学ぶ
- ドイツ語学(薦田奈美)  
ドイツ語から他者とのコミュニケーションを学ぶ

## 卒業生インタビュー OG Voices

ミッションは、舞台芸術作品と観客をつなぎ、人の心に感動を届けること

静岡県舞台芸術センター 制作部スタッフ

2015年卒業 Y.J.さん



私は、SPACという静岡県の公立劇団で演劇制作の仕事をしています。稽古の立ち会い、プロモーション、公演日の受付業務、海外カンパニーの受け入れなど多岐に渡ります。舞台芸術を支える立場として、作品を理解することは不可欠。西洋哲学やドイツ文学のゼミで培った論理的思考や分析力、語学力が役立っています。

## ヨーロッパ・地中海研究:授業の紹介 CLASS INTRODUCTION

### 【ドイツ文学論】

ドイツ文学とは、ドイツだけでなくスイスやオーストリアなどのドイツ語圏で書かれた文学のことを指します。その中には哲学や音楽、宗教などの隣接する学問領域と関係する作品が数多くあります。授業では、カタストロフィ(破局)をテーマに『聖書』から現代に至るまでのドイツ文学を取り上げ、その「語り」に含まれる思想、宗教そして暴力性の問題を批判的に読解します。この学びは、カタストロフィに溢れた現代社会の諸問題を解明するヒントを見出すことでもあります。



多民族・多文化社会アメリカを深く知り現代社会に生きる力につける

# アメリカ研究

世界中から人が集まるアメリカは、現在の世界の縮図です。大衆消費社会の文化で世界を魅了する国は、私たち自身の生活を考えるヒントに満ちています。先端の技術文明と大自然、大都市とスモール・タウン、アメリカは多様です。

隣接するカナダ、中南米も含め、人や社会を多角的に理解する方法を身につけます。



## 教員紹介

■アメリカ現代哲学(大庭 諒)  
アメリカ哲学の「過激さ」を楽しむ

■科学史・科学論(鈴木秀憲)  
「科学」という宮みの意味を考える

■アメリカ史(森脇由美子)  
都市生活の歴史的研究

■対照言語学(松岡幹就)  
人間言語の文法の普遍性と多様性を探る

■談話分析(吉田悦子)  
話しこばの英語から人間の心の動きを探る

■アメリカ文学(小田敦子)  
詩を読み、英語のリズムと意味を体感する

■アメリカ文学(野田 明)  
言葉と文学の面白さを学ぶ、翻訳にも挑戦

■アメリカ文学(田畠健太郎)  
アメリカ小説の登場人物に感情移入する

■社会学(江成 幸)  
アメリカの多民族社会を探求する

■社会人類学(立川陽仁)  
グローバルな時代の辺境を探る

■文化地理学(中川 正)  
アメリカの地域・環境・景観を探検する

## アメリカ研究・授業の紹介

## CLASS INTRODUCTION

### 【アメリカ史演習】

この授業は、アメリカ史に関する英語文献や史料を読み、近年アメリカで発表された研究や当時の史料を通してアメリカ史を学ぶものです。扱う内容は「西部への移住」や「植民地時代の家族」など多岐にわたりますが、高校の「世界史」の教科書のような概説的なものではなく、具体的な出来事やテーマを取り上げ深く学んでいきます。アメリカ史を学ぶとともに、洋書購読を通して英語読解力を身に付けることも目的にしています。



## 卒業生インタビュー OG Voices

観察する力、想像する力で  
プラスワンの提案を

LACEトラベル



2018年卒業

K.M.さん

私は現在、お客様  
のご旅行の細々  
としたお手伝いだ

けではなく旅行全体についてのご提案まで  
させていただく仕事を行っています。お客様とのやりとりからその方の本当のニーズを見抜いて、プラスワンのご提案をすることがこの仕事ではとても大切です。そのための観察する力、想像する力は、人文学部での文化人類学の研究を通して身についたと思います。